

## 〈第4学年分科会 提案発表〉

発達段階に応じた書く力を育成する国語科学習指導を求めて

—説明的文章を用いた単元の構想と展開—

美波町日和佐小学校教諭 齊藤 千晶

### 1 はじめに

子どもたち一人一人に、自分の思いや考えを言葉にして伝えることのよさや、言葉を介して人と人とが通じ合えることの喜びを実感させたいと考えた。そこで、「書くこと」の学習指導に着目することにした。私たちは書くことによって、自分の思いや考えを整理し、伝えたいことを明確にすることができるからである。

本研究では、説明的文章を教材として扱う単元に特化して研究を進めることとする。説明的文章に特化して分析・考察することにより、時間や事柄の順序、段落相互の関係や文章の構成などの説明的文章教材の特徴と「書くこと」の指導内容とを関連付けて捉えるとともに、発達段階に応じた書く力を系統的・段階的に育成することができると思うためである。

### 2 研究仮説

- (1) 教材の特徴を捉え、指導の要点を明らかにするとともに、適切な書く活動を選定することによって、発達段階に応じた書く力の育成を図ることができるか。
- (2) 「書くこと」の学習過程を明確化した単元を構想し展開していくことによって、身に付けさせたい資質・能力を効果的に育成するとともに、「書くこと」に伴う思考の習慣化を図ることができるか。
- (3) 考えを共有する学習過程において、共有する観点を示したり教師との対話を重ねたりすることによって、子どもたちが自分の文章の内容や表現のよいところを自覚することができるか。

### 3 研究の実際

- (1) 説明的文章教材の教材配列表の作成（令和3年度光村図書の場合）
- (2) 小学3年生における授業実践例（光村図書「ありの行列」）
- (3) 小学4年生における授業実践例（光村図書「アップとルーズで伝える」）

### 4 おわりに

本実践は、子どもたち一人一人に、自分の思いや考えを言葉にして伝えることのよさや、言葉を介して人と人とが通じ合えることの喜びを実感させたいという思いからスタートした。説明的文章を教材に「書くこと」に焦点を当て、研究を進めた。書いたことを基に、友達と伝え合う活動を取り入れたことで、子どもたちに自信をつけることができた。教材の特徴を捉え適切な書く活動を選定することや、「書くこと」の学習過程を明確化した単元を構想し展開していくことが大切であると実感した。今後も、発達段階に応じた書く力を育成することを目指し研究と実践を重ねていきたい。